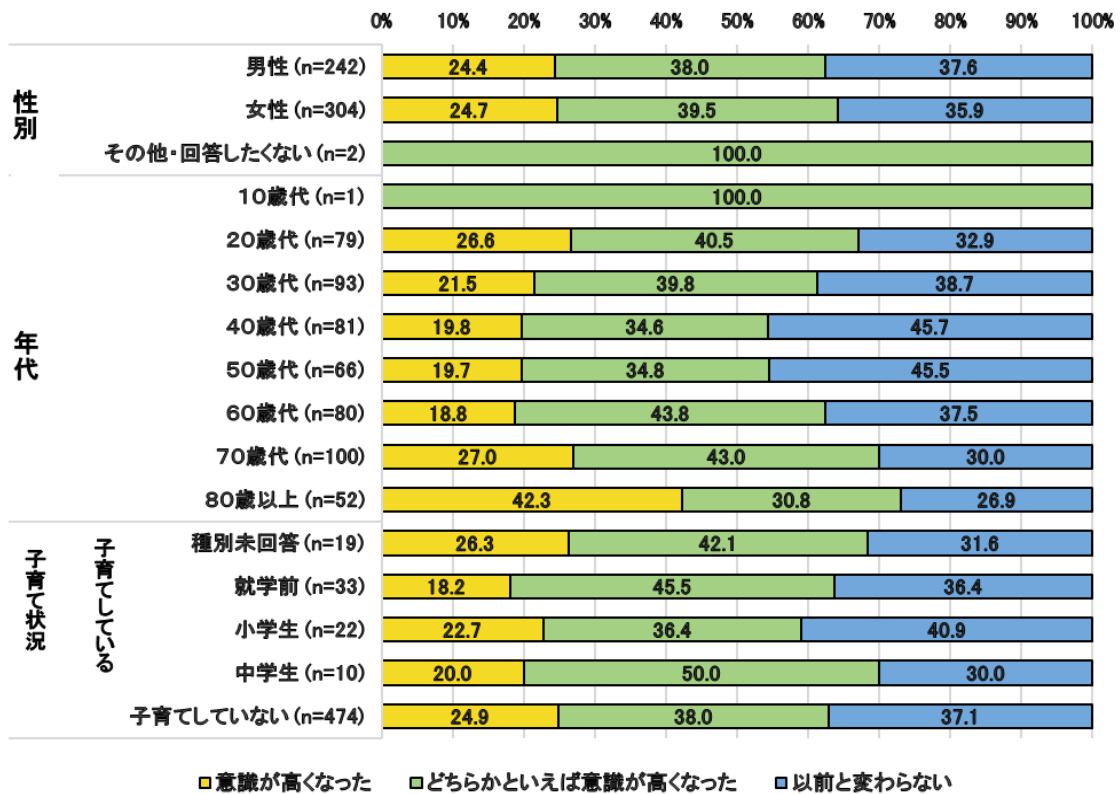
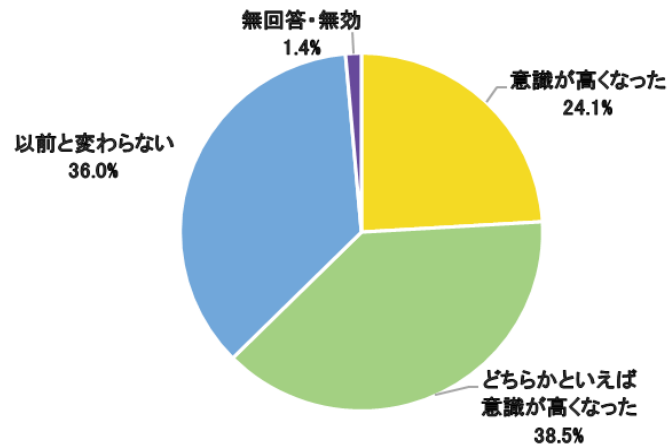


問12 あなたは、以前に比べて、防犯に対する意識が高くなったと感じますか。

1. 意識が高くなった
2. どちらかといえば意識が高くなった
3. 以前と変わらない

N = 569

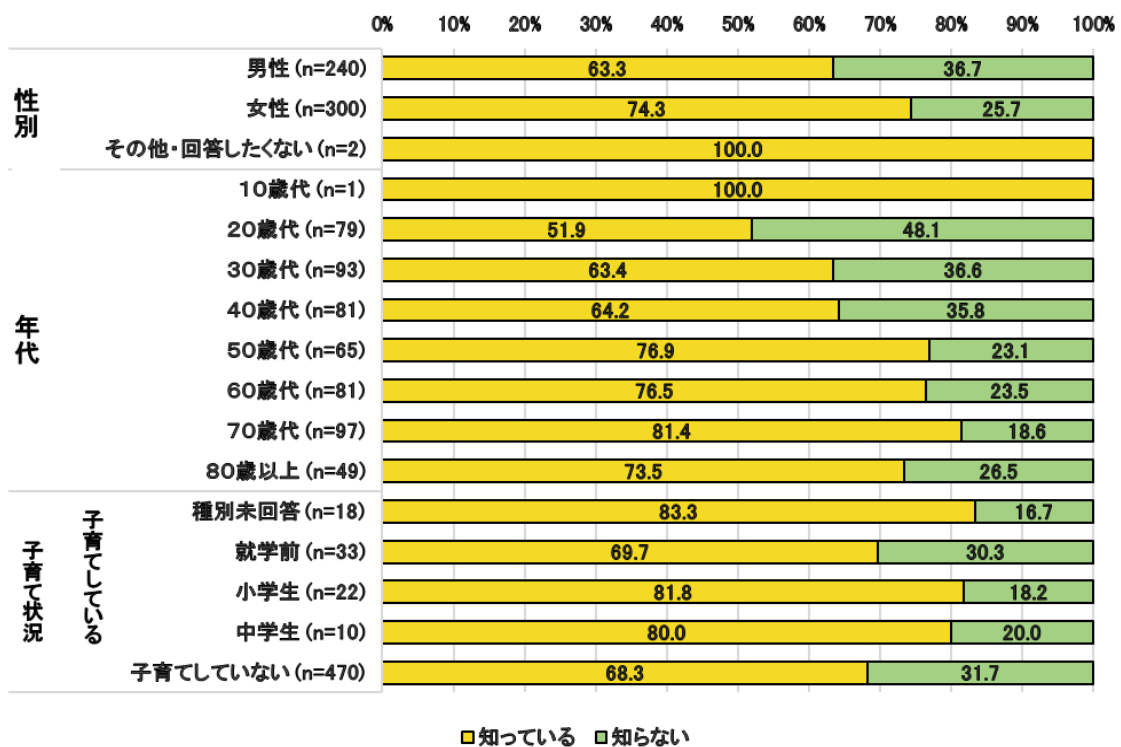
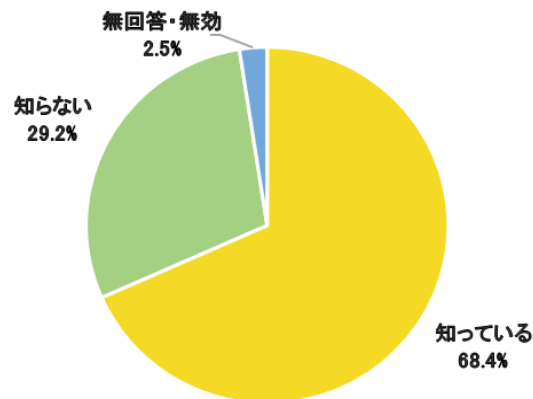


全体では、肯定的意見の割合は「意識が高くなった」「どちらかといえば意識が高くなった」と回答した方の割合が62.6%となり、肯定的意見が6割を超える結果となりました。
年代別では、どの世代でも過半数以上で肯定的意見の割合が5割を超える結果となりました。

問13 あなたは、近くの避難場所を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

N = 569

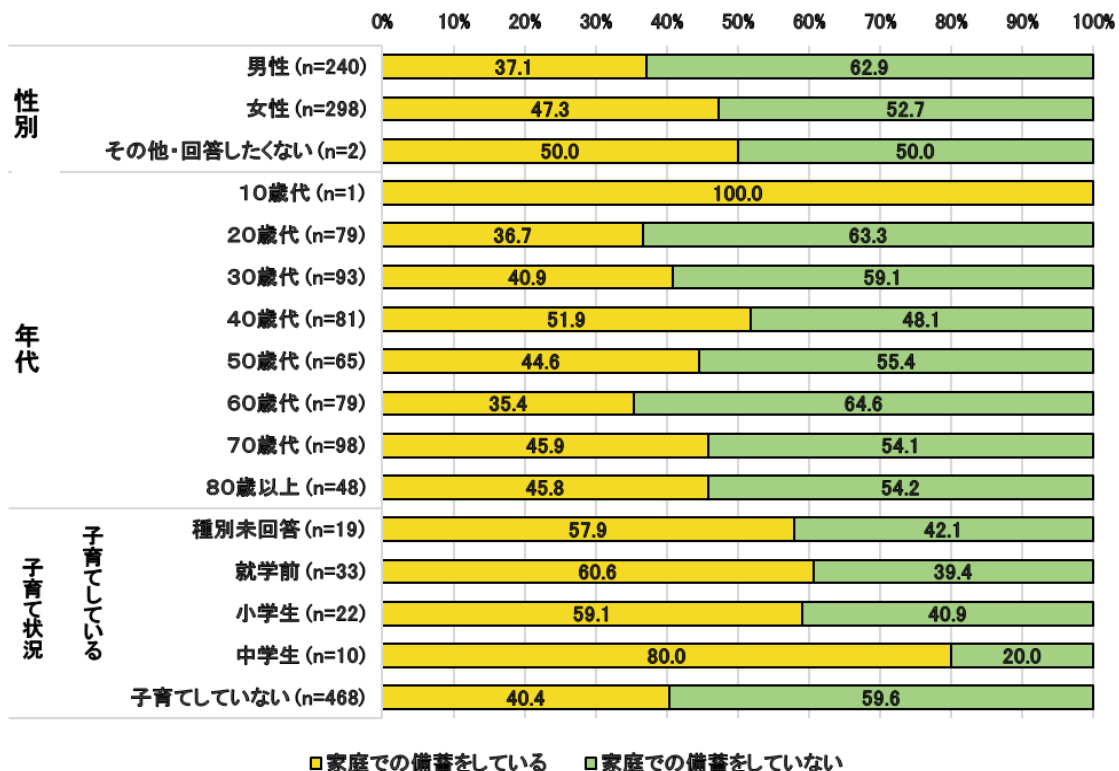
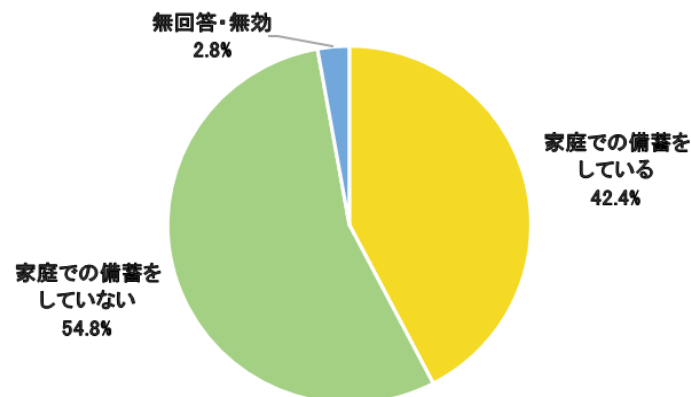


全体では、「知っている」と回答した方の割合が68.4%という結果となりました。
年代別では、50歳代以上で「知っている」と答えた方は7割を超える結果となりました。

問14 あなたは、災害に備えて、ご家庭で食糧や飲料水などの備蓄をしていますか。

1. 家庭での備蓄をしている 2. 家庭での備蓄をしていない

N = 569



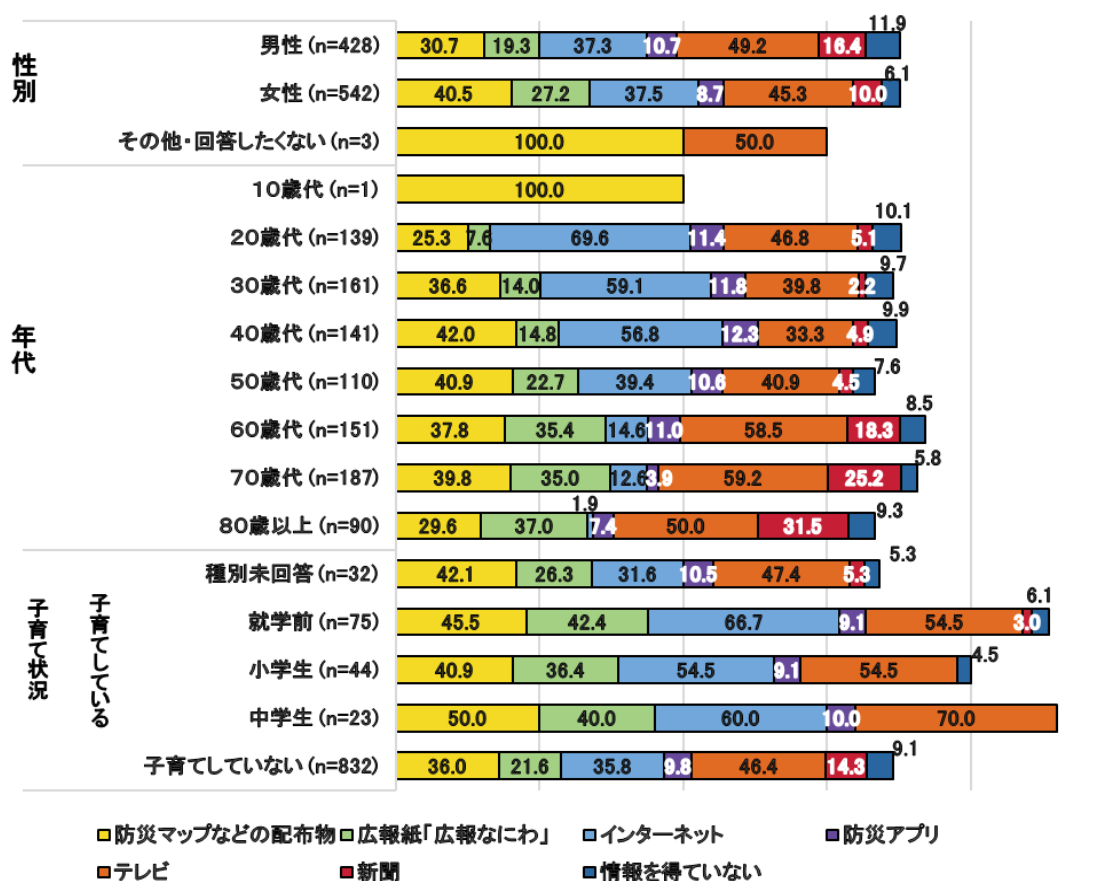
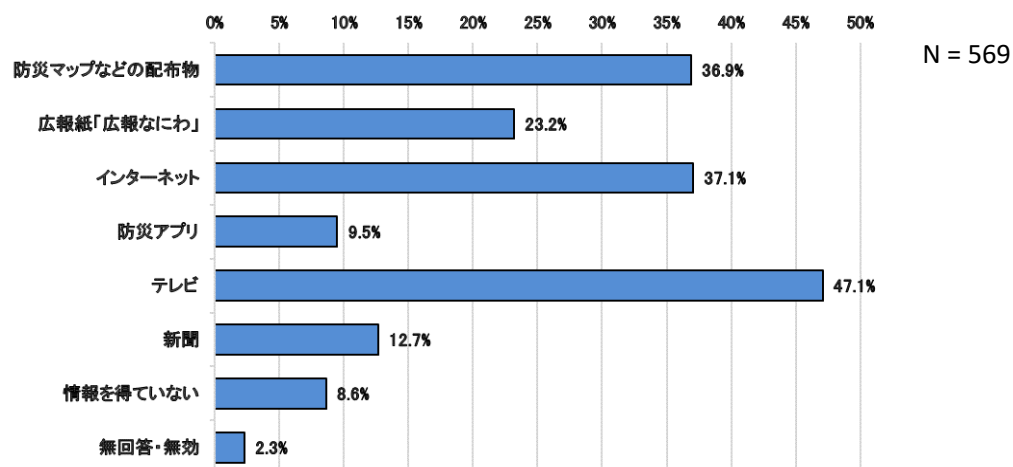
全体では、「家庭での備蓄をしている」と回答した方の割合が42.4%、「家庭での備蓄をしていない」と回答した方の割合が54.8%となりました。

年代別では、40歳代で「家庭での備蓄をしている」と回答した方の割合が最も高い結果となりました。

問15 あなたは、災害に備えて、何から情報を得ていますか。

(※あてはまるものすべてお選びください)

1. 防災マップなどの配布物
2. 広報紙「広報なにわ」
3. インターネット
4. 防災アプリ
5. テレビ
6. 新聞
7. 情報を得ていない



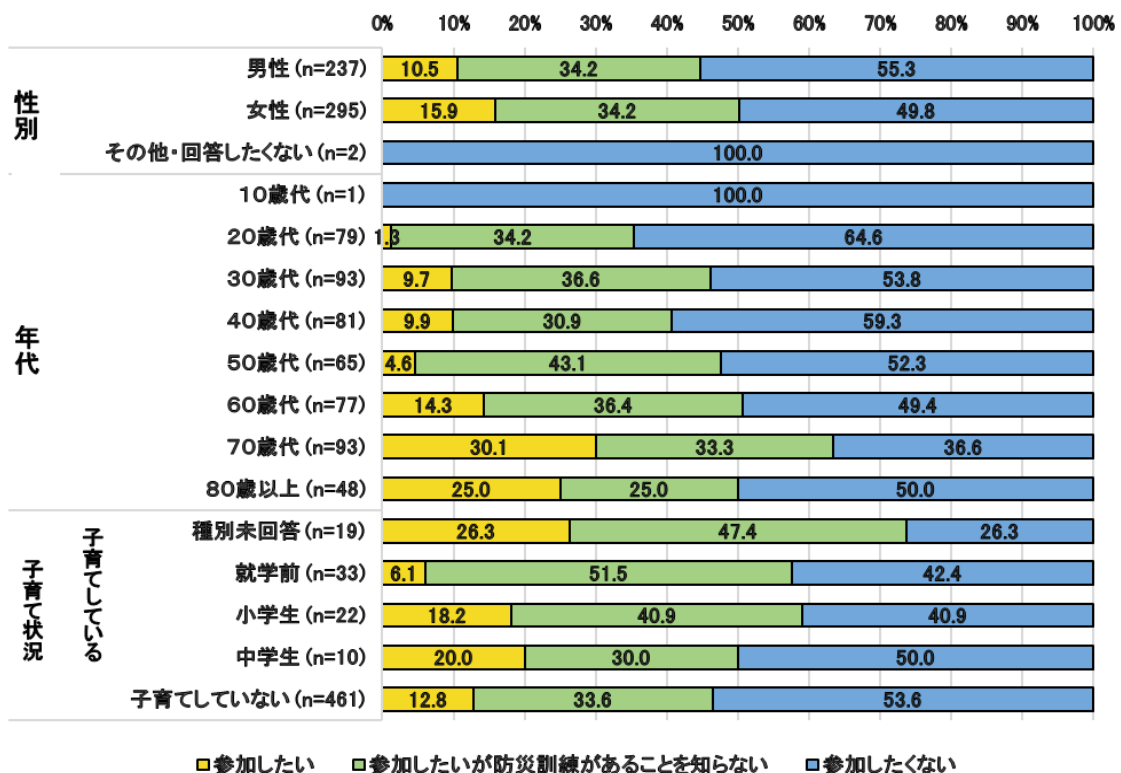
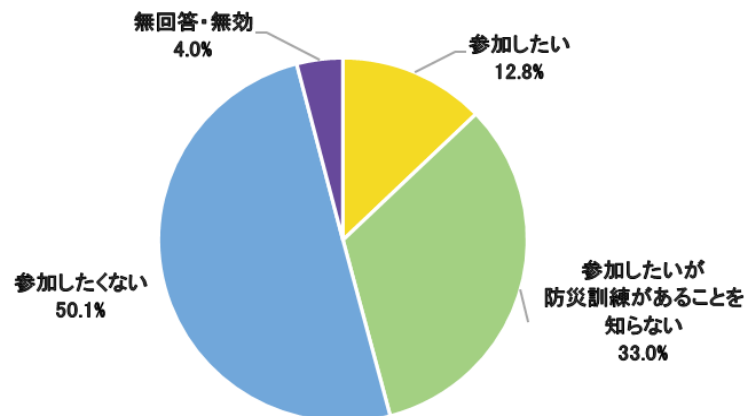
この質問は複数の回答を選択可能であるため、性別・年代別などそれぞれの回答者数(N)に対する割合を表しています。

全体では、「テレビ」と回答した方の割合が47.1%と最も高い結果となり、ついで、「インターネット」と回答した方の割合が37.1%、「防災マップなどの配布物」と回答した方の割合が36.8%となりました。年代別では、20歳代から40歳代で、「インターネット」と回答した割合が最も高い結果となりました。

問16 あなたは、地域(小学校区など)で開催している防災訓練に参加したいですか。

1. 参加したい
2. 参加したいが防災訓練があることを知らない
3. 参加したくない

N = 569

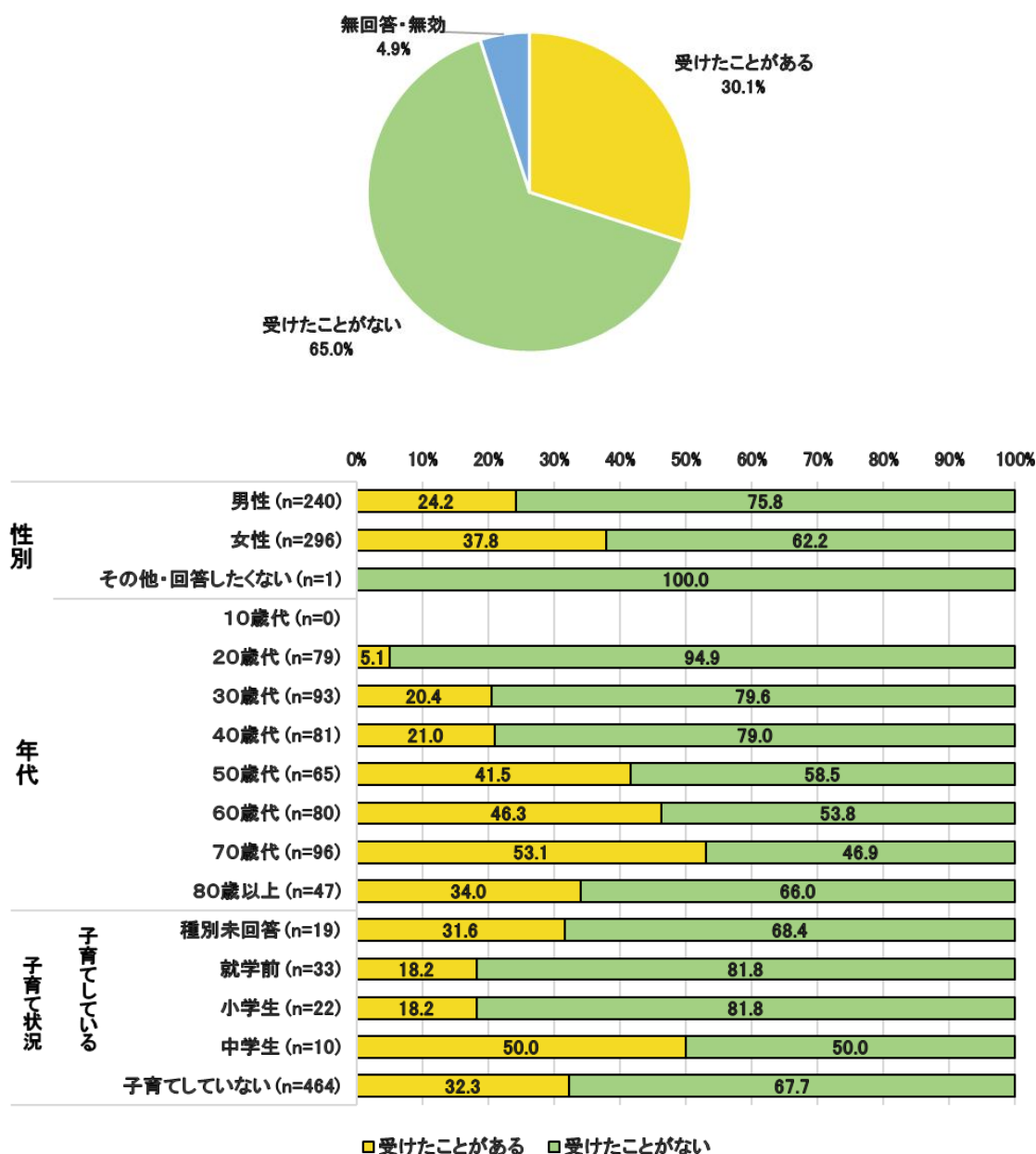


全体では、「参加したくない」と回答した方の割合が最も多く、50.1%でした。ついで多かったのが「参加したいが防災訓練があることを知らない」と回答した方で、33.0%という結果となりました。年代別では、60歳代以上で「参加したい」、「参加したいが防災訓練があることを知らない」という回答をした方の割合が5割を超える結果となりました。

5. 健康づくりについて

問17 あなたは、大阪市のがん検診や特定健診※を受けたことがありますか。
 ※特定健診とは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的とした健康診査(無料)です。
 (※20歳以上の方にお聞きします)
 1. 受けたことがある (→ 問19へ) 2. 受けたことがない (→ 問18へ)

N = 569



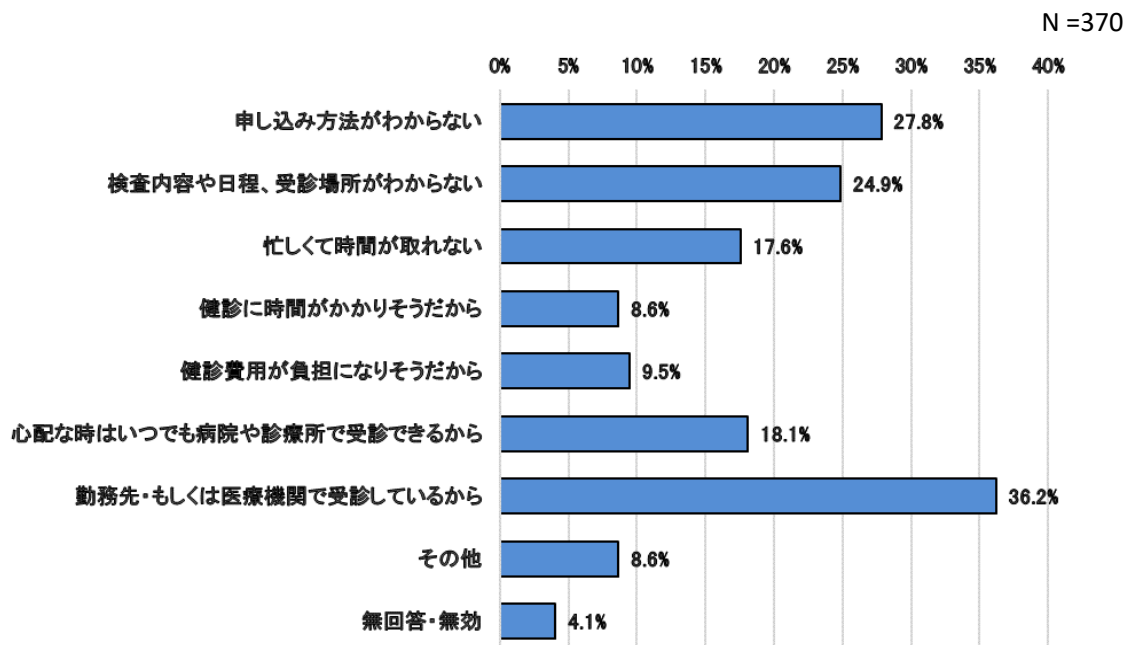
全体では、「受けたことがない」と回答した方の割合が多く、65.0%という結果となりました。
 年代別では、20歳代から40歳代の年代で「受けたことがない」と回答した方が7割を超え、
 また50歳代以上では4割を超える結果となりました。また、70歳代では「受けたことがある」と
 回答した方の割合が、53.1%と最も高い結果となりました。

問18 問17で「2 受けたことがない」とお答えの方におうかがいします。

あなたが、大阪市のがん検診や特定健診を受診されない理由をお聞かせください。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

1. 申し込み方法がわからない
2. 検査内容や日程、受診場所がわからない
3. 忙しくて時間が取れない
4. 健診に時間がかかりそうだから
5. 健診費用が負担になりそうだから
6. 心配な時はいつでも病院や診療所で受診できるから
7. 勤務先・もしくは医療機関で受診しているから
8. その他 ()



全体では、「勤務先・もしくは医療機関で受診しているから」と回答した方の割合が最も多く、36.2%という結果となりました。また、「申し込み方法がわからない」と回答した方の割合が27.8%で、「検査内容や日程、受診場所がわからない」と回答した方の割合が24.9%という結果となりました。

8. その他で頂いた回答

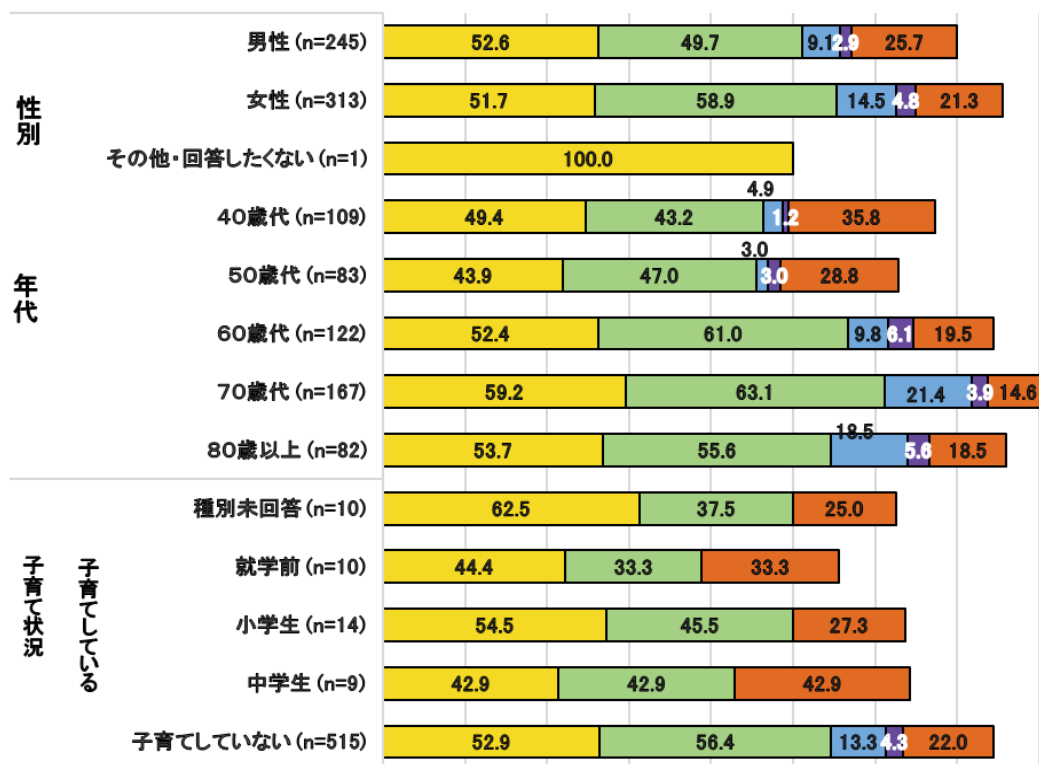
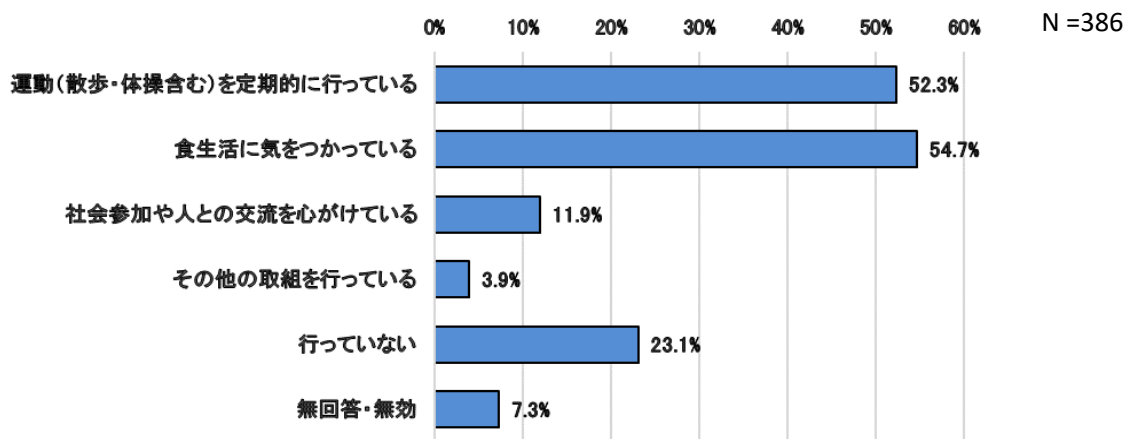
特に理由はない
H29年から病院に3ヶ月月2回かよっている
長年固定の病院で毎月2回の血液検査他定期受診
まだ引越してきて間もないから
興味ないから
案内が分かりにくい
かかりつけの病院で毎年がん検診をしています
自身の健康状態に自信があるから
現在、病院に通院して治療中です
受けるつもりが無い
健診を受けようと思いつながら…過ぎてしまっています
書類などきたことがない
どこで受けるかわからない、一人で動けない 前の質問で、わからないという回答がないのは何故だ！
持病の治療を続けているから
主治医で健診を受けている
国保じゃないから
自分自身に異常を感じないし、普通の検診で出ていない
まだ若いから
特定健診を知らない
生活保護は外されている
引越してきたばかりのため
対象外
健康保険ありは対象外では？
行かなければと思いつつ、行っていない
医療機関で受診している
もうすぐ受ける
案内が来てない、来ていたとしても気付いてない可能性がある
健診があることも知らない

問19 あなたは、「介護予防」のための取組を行っていますか。

(※40歳以上の方にお聞きします)

(※あてはまるものすべてお選びください)

1. 運動(散歩・体操含む)を定期的に行っている
2. 食生活に気をつけている
3. 社会参加や人との交流を心がけている
4. その他の取組を行っている()
5. 行っていない(→問20へ)



- 運動(散歩・体操含む)を定期的に行っている
- 食生活に気をつけている
- 社会参加や人との交流を心がけている
- その他の取組を行っている
- 行っていない

この質問は複数の回答を選択可能であるため、性別・年代別などそれぞれの回答者数(N)に対する割合を表しています。

全体では、「運動(散歩・体操含む)を定期的に行っている」、「食生活に気をつけている」が共に5割を超える結果となりました。

年代別では、70歳がなんらかの取組を行っていると回答した方の割合が最も多く、50歳代が一番少ない結果となりました。

4. その他の取組の回答

保険に加入
パートに行っているのが運動もかねている
デイサービス利用
デイケアにかよっている
ボランティア活動に力を入れている
たまにジムへ行っている
かかりつけ医院で適時相談している
マッサージに行く
日常の会社でのビルの階段の昇り降り
勤務を続けているのが介護予防につながっているかと
新聞雑誌等を読む

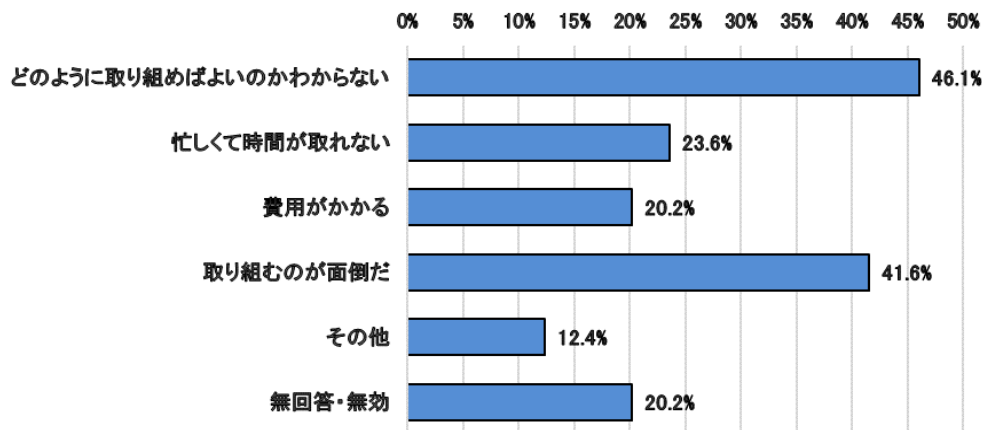
問20 問19で「5. 行っていない」とお答えの方におうかがいします。

あなたが、「介護予防」のための取組を行っていない理由をお聞かせください。

(※あてはまるものすべてお選びください)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. どのように取り組めばよいのかわからない | 2. 忙しくて時間が取れない |
| 3. 費用がかかる | 4. 取り組むのが面倒だ |
| 5. その他() | |

N = 89



「介護予防」のための取組を行っていない理由として、「どのように取り組めばよいのかわからない」と回答した方の割合が最も多く、46.1%という結果となりました。

ついで多かったのが、「取り組むのが面倒だ」の41.6%、「忙しくて時間が取れない」の23.6%、「費用がかかる」の20.3%という結果となりました。

5. その他で頂いた回答

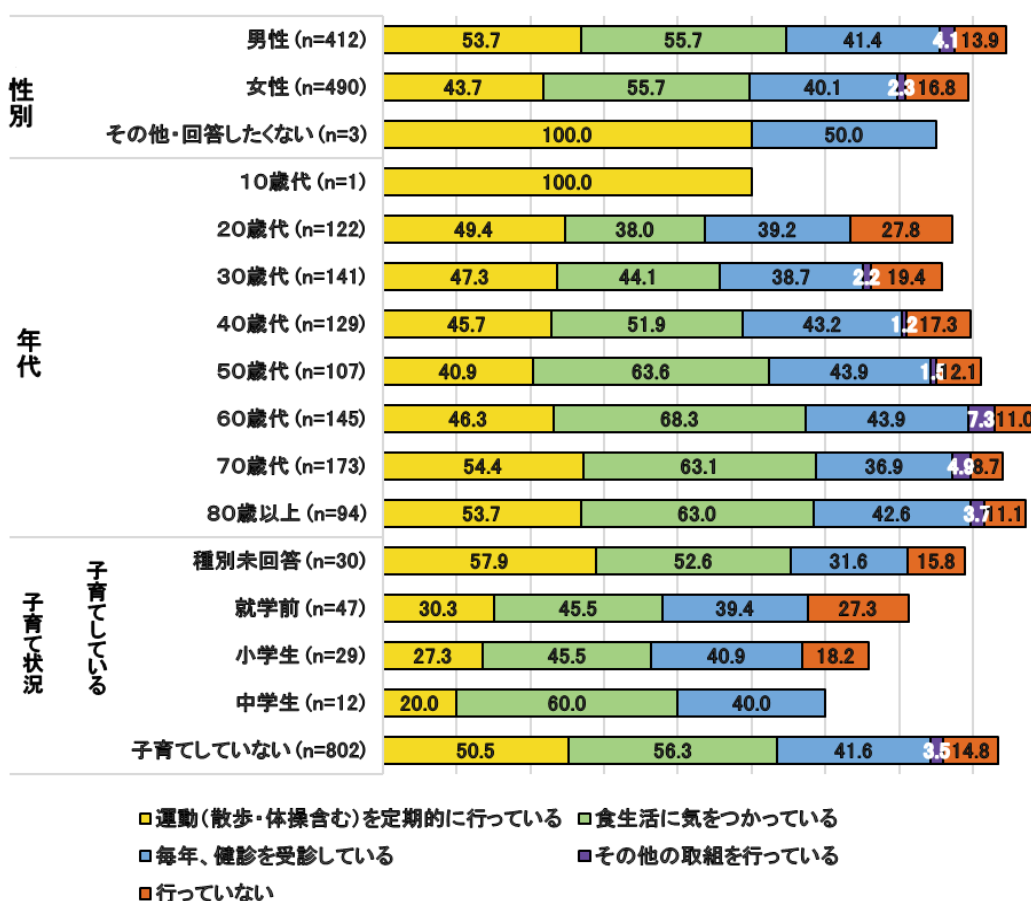
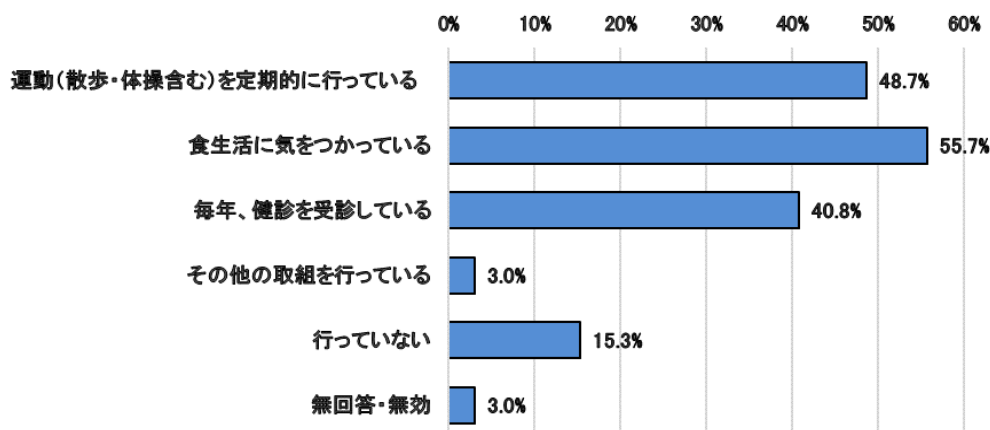
必要性を全く感じない
そこまでの余裕がない
持病の手術のため、長時間立ったり歩いたりすると腰痛になり我慢できない
ヘルパーに甘えてます
継続が難しい
健康や体型維持は意識していますが、介護予防の意識まで至っていない
なるようになるだろうと考える
個人的には必要性が低いから
老齢

問21 あなたは、「生活習慣病予防」のための取組を行っていますか。

(※あてはまるものすべてお選びください)

1. 運動(散歩・体操含む)を定期的に行っている
2. 食生活に気をつけている
3. 毎年、健診を受診している
4. その他の取組を行っている()
5. 行っていない(→問22へ)

N = 569



この質問は複数の回答を選択可能であるため、性別・年代別などそれぞれの回答者数(N)に対する割合を表しています。

全体では、「食生活に気をつけている」と回答した方の割合が最も多く、55.7%という結果となりました。

ついで、「運動(散歩・体操を含む)を定期的におこなっている」と「毎年、健診を受診している」が4割を超える結果となりました。

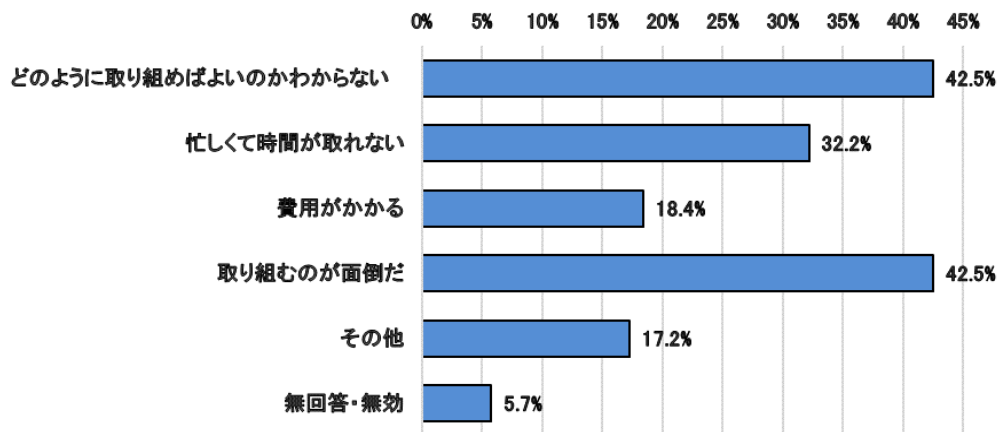
年代別では、60歳代がなんらかの取組を行っているという回答した方の割合が最も多く、20歳代が一番少ない結果となりました。

4. その他の取組の回答

保険に加入、情報収集
毎月1回主要8項目を受検してます
病院で血液検査、レントゲン他
毎月、クリニックでチェック
定期的受診
現在治療中です
定期的に病院で経過観察している
高血圧なので塩分量を抑えるようにしています
月曜日～土曜日まで仕事をして身体を動かしています
サプリなど 青汁
かかりつけ医の検診を受けている
日常の会社でのビルの階段の昇り降り
半年ごとに血液検査

- 問22** 問21で「5. 行っていない」とお答えの方におうかがいします。
 あなたが、「生活習慣病予防」のための取組を行っていない理由をお聞かせください。
 (※あてはまるものすべてお選びください)
- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. どのように取り組めばよいのかわからない | 2. 忙しくて時間が取れない |
| 3. 費用がかかる | 4. 取り組むのが面倒だ |
| 5. その他() | |

N = 87



「どのように取り組めばよいのかわからない」と「取り組むのが面倒だ」と回答した方の割合が同率で最も高く、42.5%という結果となりました。

ついで多かったのが、「忙しくて時間が取れない」の32.2%、「費用がかかる」の18.4%という結果となりました。

5. その他で頂いた回答

先生の指導による主たる習慣病の検査
必要性が無い
そこまで考えてる余裕がない
興味ないから
持病の手術のため、長時間立ったり歩いたりすると腰痛になり我慢できない
身体的理由でやりたくてもなかなか出来ない
とにかく体がしんどくなるのでなにもしない
要介護状態である
リハビリ中、訪問看護
うつのため2人での外出が困難なため
持病のため病院にかよっている、医者の指示に従っている

6. Aケアカードについて

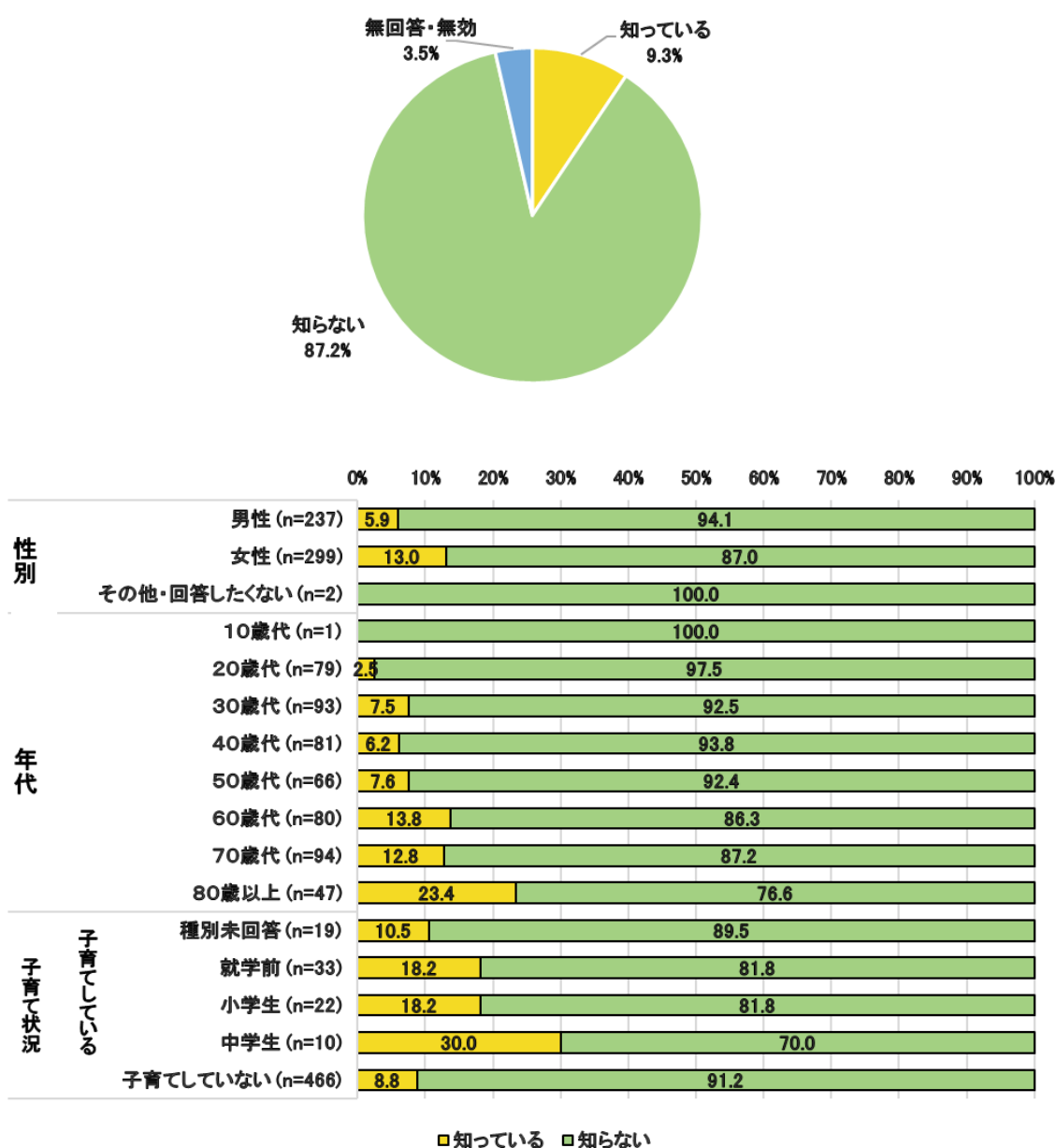
浪速区役所では、区民の皆様を対象に、医療と介護の連携をICT(情報通信技術)を利用して行うAケアカードシステムを実施しています。

Aケアカードシステムは、カード利用者の医療や介護サービスの利用状況などを、Aケアカードシステムに参加している医療機関・介護事業所などが、コンピュータネットワークで共有し、利用者にとって最適な医療・介護サービスを提供するためのシステムです。
なお、Aケアカードは、年齢を問わず、医療サービスだけの方も利用できます。

問23 あなたは、Aケアカードを知っていますか。

1. 知っている (→ 問24へ) 2. 知らない (→ 問25へ)

N = 569



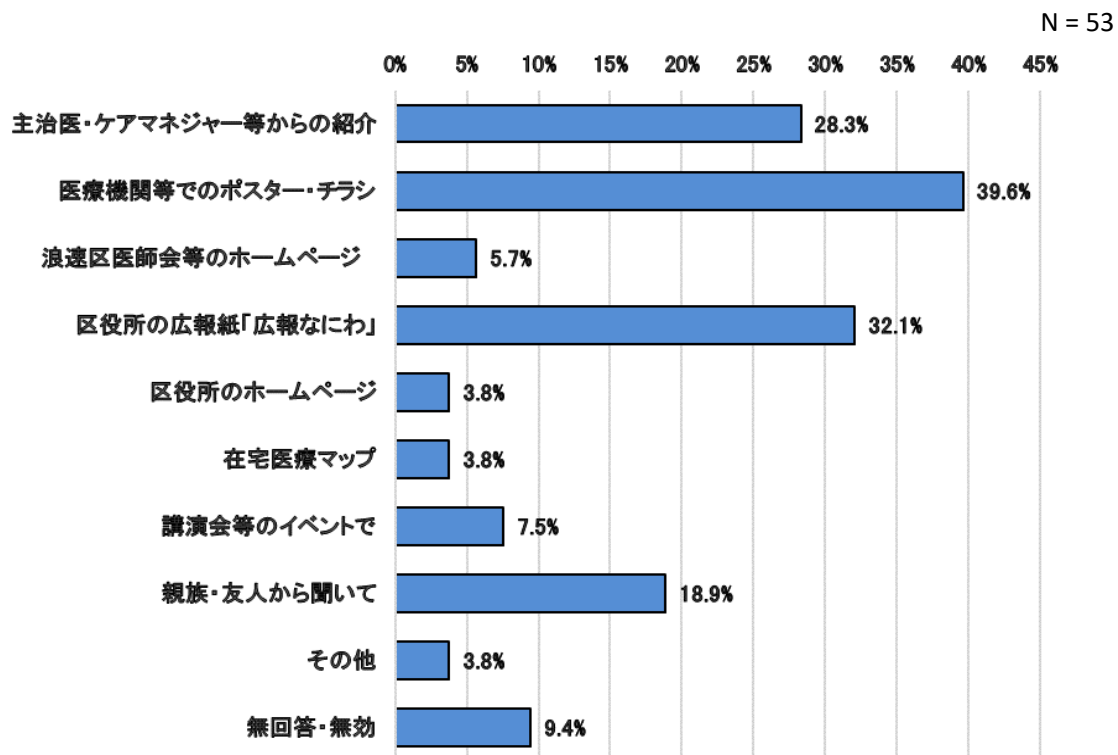
全体では、「知っている」と回答した方の割合が、9.3%という結果となりました。
年代別では、60歳代以上では「知っている」回答した方の割合が10%以上という結果となり、80歳以上では最も多く、23.4%という結果となりました。

問24 問23で「1.知っている」とお答えの方へおうかがいします。

あなたは、その情報を何でお知りになりましたか。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 主治医・ケアマネジャー等からの紹介 | 2. 医療機関等でのポスター・チラシ |
| 3. 浪速区医師会等のホームページ | 4. 区役所の広報紙「広報なにわ」 |
| 5. 区役所のホームページ | 6. 在宅医療マップ |
| 7. 講演会等のイベントで | 8. 親族・友人から聞いて |
| 9. その他 () | |



全体では、「医療機関等でのポスター・チラシ」と回答した方の割合が最も多く、39.6%という結果となりました。

ついで「区役所の広報紙『広報なにわ』」と回答した方の割合が32.1%という結果となりました。

9. その他で頂いた回答

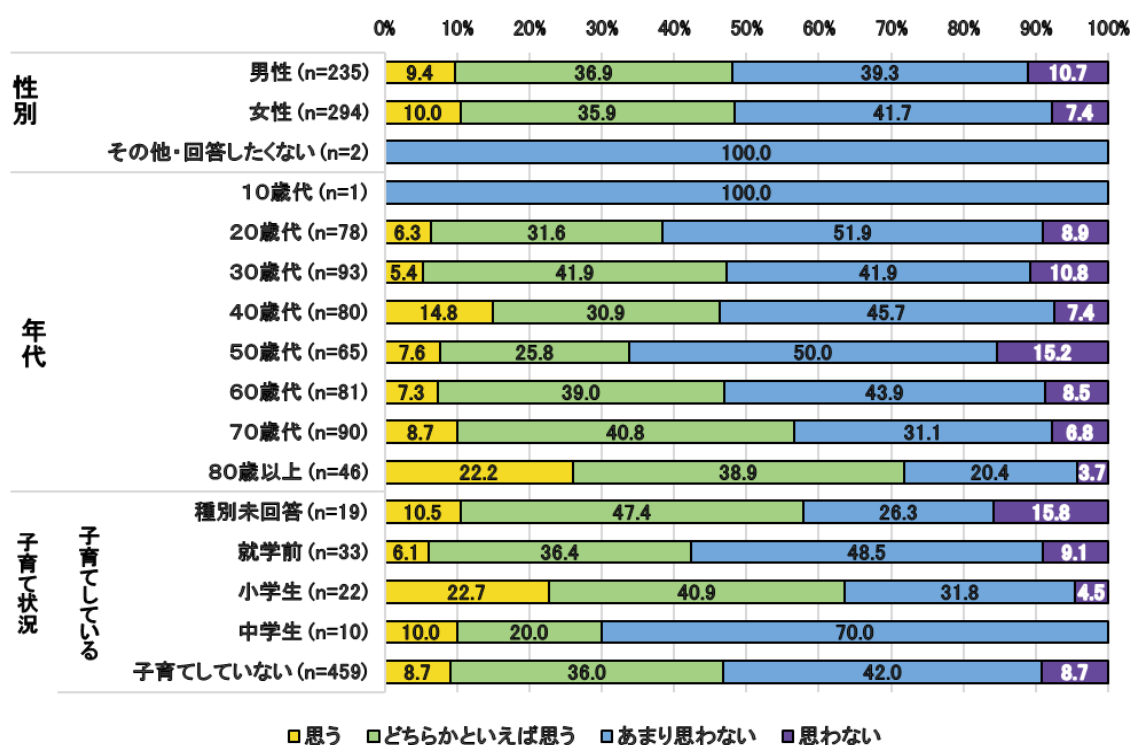
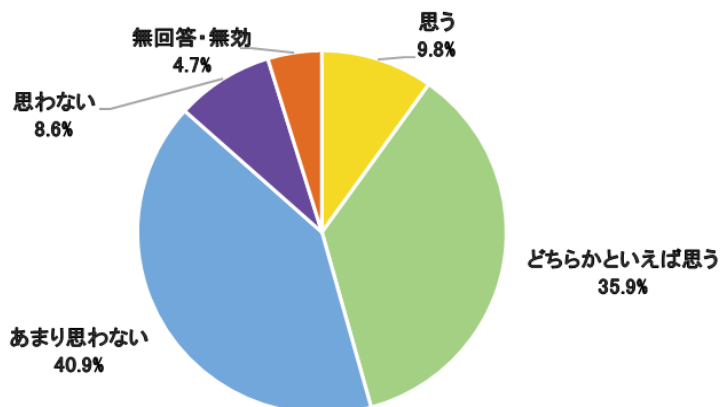
区役所の張り紙で見たが、内容は知らない
介護の仕事しているから

7. 地域コミュニティ・地域活動について

問25 浪速区は高齢者や障がいのある方が安心して暮らし続けられるまちだと思いますか。

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. あまり思わない
4. 思わない

N = 569



全体では、「思う」「どちらかといえば思う」という肯定的意見の割合が45.7%という結果となりました。
一方で「思わない」「あまり思わない」と回答した方の割合は、49.5%という結果となりました。
年代別では、70歳代と80歳以上で肯定的意見が5割を超える結果となりました。